

京のかえると大阪のかえる

滋賀県

むかし。

大阪のかえるが、

「京都ってどんなところか、一度見てこよう」と思って、出かけました。

京都のかえるも、

「大阪ってどんなところか、一度見てこよう」と思って、出かけました。

二匹ふたひきのかえるは、大阪と京都のちよどまんなかの天保山てんぽうざんのてっぺんで出会いました。

「やあ、おまえ、どこへ行くんだ」

「おれは、京都がどんなところか見に行くところだ。おまえはどこへ行くんだ」

「そうか、おれは、大阪がどんなところか見に行くところだ」

「じゃあ、ここから見てみようじゃないか」

「ああ、それがいい」

二匹のかえるは、「よいしょ」と立ち上がって、見てみました。ところが、かえるは、目が後ろについているので、自分がやってきた方が見えました。大阪のかえるは、

「ほう、京都は、まるきり大阪と同じじゃないか」といいました。京都のかえるは、

「ほう、大阪は、まるきり京都と同じじゃないか」といいました。

二匹のかえるは、

「それなら、わざわざ見に行くこともないなあ。もう帰ろう」といって、帰って行きました
とさ。

おしまい

村上郁再話

資料『近江の昔話』笠井典子／日本放送出版協会